

グループ研究テーマ

「子どもの貧困」に関する研究

グループ名： 《 いばしょ 》

《メンバー》

SGS 14期

上田 尚男 波々伯部 之夫

大内 善郎 長浜 速雄

藤原 俊雄 前川 宏睦

山崎 修一郎 和佐 信行

SGS 15期

今中 英雄 島村 千恵子

南部 ユリ子

2020年12月16日

テーマを取上げた理由

- * 「子どもの貧困」が日本において、深刻な社会問題の一つになっている。
- * 前テーマの「食品ロス」との関連性が高いこともあり、「子どもの貧困」を研究することにした。

日本の「子どもの貧困」について

◆日本は世界第3位の経済大国で
ありながら、

【子ども7人に1人が貧困状態】

◆子どもの貧困問題は、社会全体
に大きな損失を与え、

【国の社会的損失は42.9兆円に及ぶ】



相対的貧困

その国の文化水準、
生活水準と比較して、

困窮した状態を示すもの。

具体的には、

世帯所得が、その国の平均所得の

1/2に満たない状態を指す。

日本全体・子どもの貧困率

日本全体の貧困率

15.4%

子ども(17歳以下)の貧困率

13.5%

◆ 子ども7人に1人が貧困状態 ◆



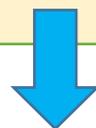
母子家庭・一人親世帯の貧困

◆ 母子家庭の貧困率 : 51%

※ 就業率は高いにもかかわらず低収入

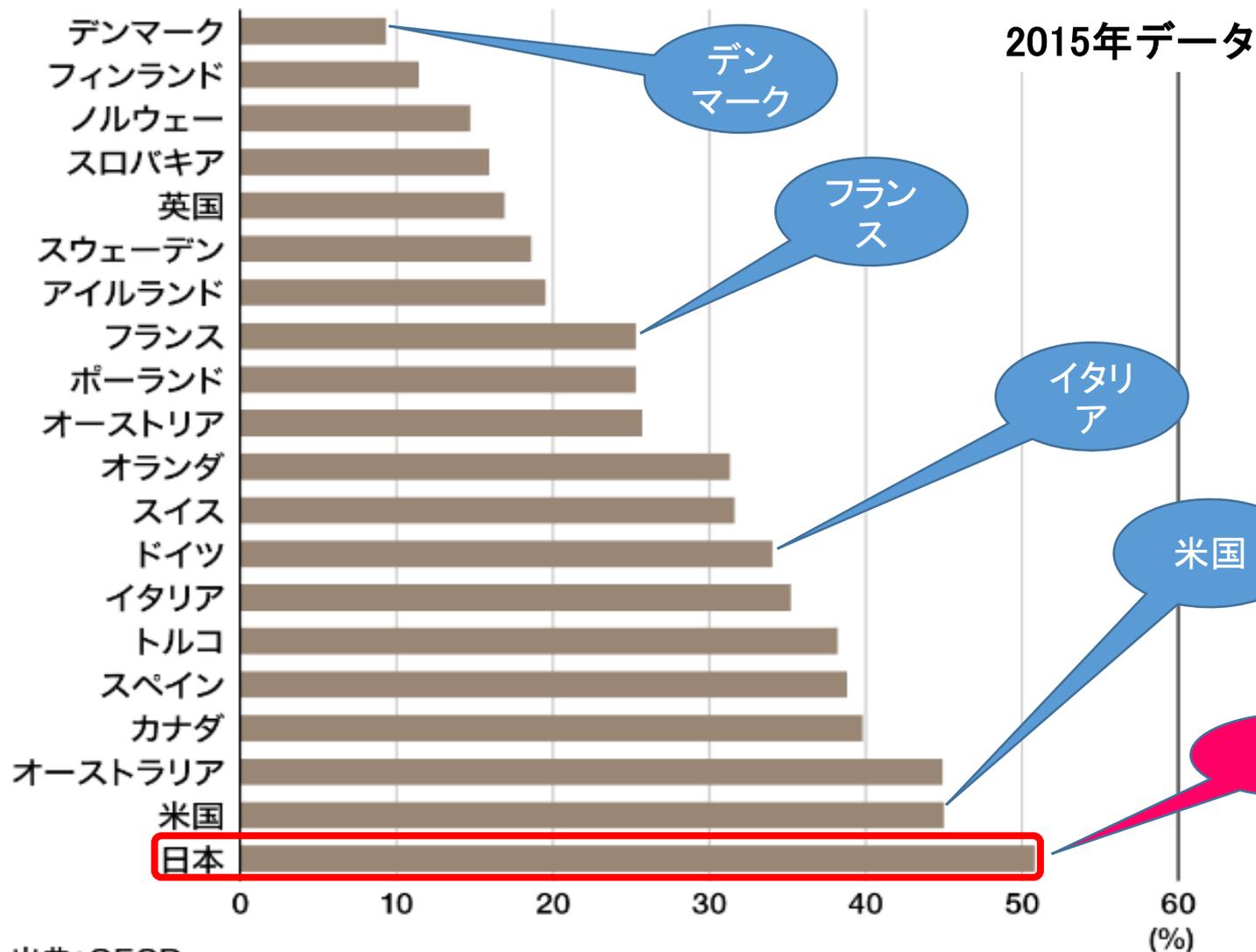
◆ 一人親世帯の貧困率 : 48%

※ 2世帯に1世帯が貧困状態



主要国の貧困率

主要20ヶ国 一人親家庭の相対的貧困率



出典: OECD
33カ国のうち主要20カ国を抽出

貧困の子どもたちの実態例（Ⅰ）

ひとり親世帯：小学2年生の男の子

- ・家庭の養育能力が低く、歯磨きや入浴など基礎的な生活習慣が、身についていない。

- ・学校の健康診断で虫歯が見つかったものの、数ヶ月間治療ができない状況が続いている。

- ・1年以上の学習の遅れも見られ、特別支援学級を利用している。

貧困の子どもたちの実態例（Ⅱ）

生活保護世帯で母子家庭：中学2年生の女の子

- ・算数の九九からつまずきを抱えている。
経済的に塾に行く余裕がなく、学習の遅れを解消できずにいる。
- ・母親が仕事で家を空けることが多く、
家事の手伝いが必要なため、家で勉強する
時間が取れない。

子どもの虐待問題

◆ 増え続ける子どもの虐待

- ・児童相談所における児童虐待相談対応件数
159,850件（2018年度）

◆ 殴る蹴るだけじゃない様々な虐待

- ・心理的虐待 ・身体的虐待
- ・ネグレクト ・性的虐待

◆ 施設にいる子どもたちの 約6割が虐待を経験



社会的養護・児童養護施設

- ◆ 保護者のない児童、被虐待児など
家庭環境上擁護を必要とする児童

約45,000人

- ◆ そのうち養護施設で
生活する子供たち

28,646人



児童養護施設で暮らす子供たち

「子どもたち」から聴いた声

- 親の虐待や怒ることが、よくあるって周囲が言うから、殺されそうになっても、これが当たり前なのかと思っていた。
- また、朝起きて夜寝る。1日3食ごはんを食べる。そういう生活を施設に来るまで知らなかった。
- Googleが親。掃除の仕方もマナーも生きるうえで、ほとんどのことを教えてもらっている。

日本の「子どもの貧困」 従来の政策

- (1) 「国民総中流」というキャッチフレーズが浸透し、子どもの貧困は政策課題にはならなかった。
- (2) 日本では「少子・高齢化」が急速に進展したことにより、「家族政策」=「少子化対策」となってきた、基本的には今日迄大きく変わっていない。

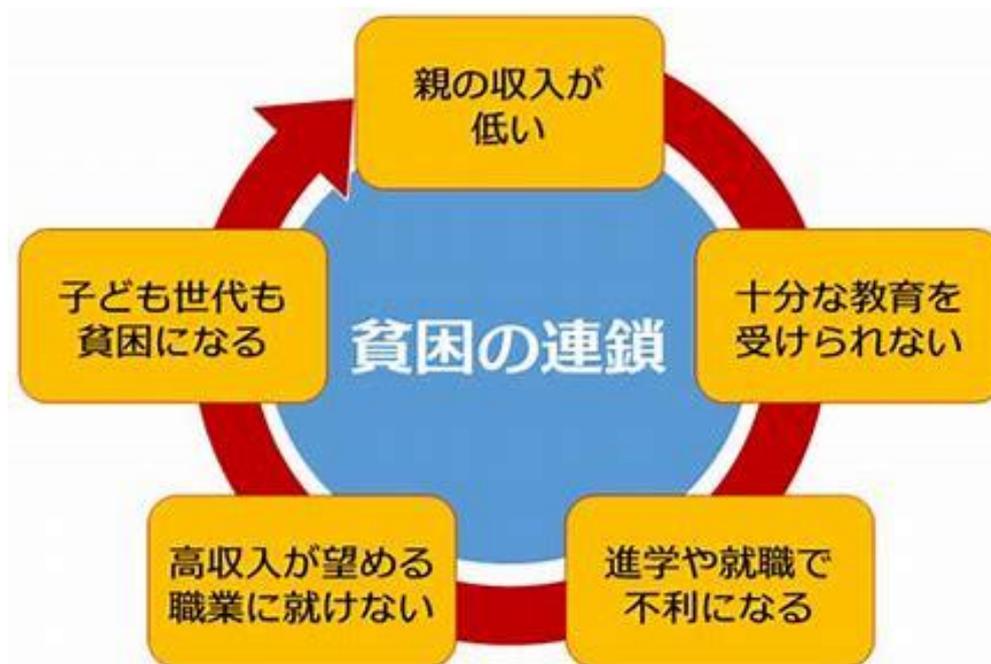


日本「子どもの貧困」の問題・課題（I）

経済的な面

「親の低収入」→「教育費不足」→「教育格差」

「**貧困の連鎖**」



社会的な面

未婚の母や離婚が増え、
ひとり親家庭が増加している

1. ひとり親増加の割合

◆ 母子世帯は1.5倍、父子家庭は1.1倍

2. 母子家庭の就業率:82%

◆ その内、就業者の52%は非正規雇用

就労収入の平均年収は200万円

《大きな問題》

父親の8割以上が養育費の支払い責任を果たしていない

政治的な面

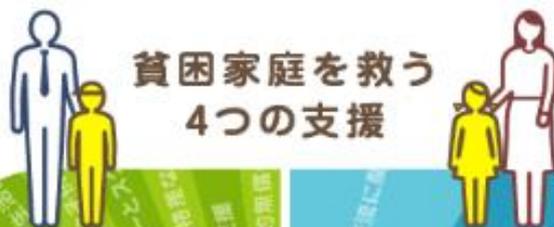
子ども支援の予算が増えない

1. 高齢化社会が進み、年金などの支出が膨らむ
◆子どもに対する支援の予算を圧迫する
2. 世界との教育費を比較
◆日本はOECD加盟国34か国中の最下位
3. 世界との子どもへの支援費を比較
◆日本は欧州諸国と比べ低水準



「子どもの貧困対策の推進に関する法律」

(成立2013年6月)



貧困家庭を救う
4つの支援

教育
支援

経済
支援

生活
支援

就労
支援



教育の支援

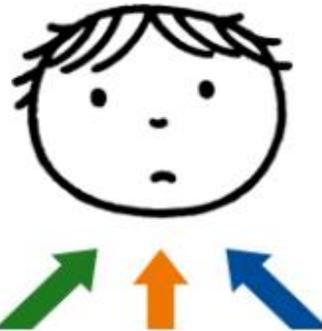
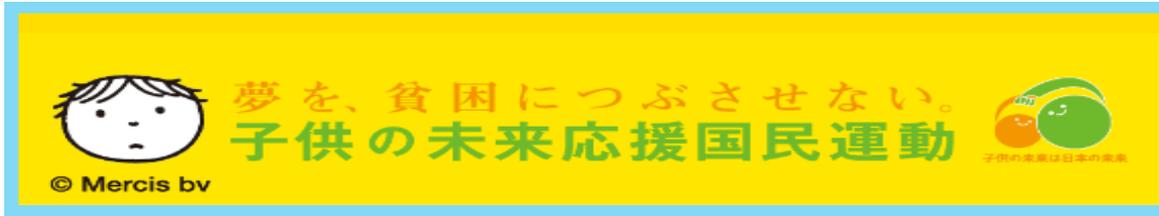
経済的支援

生活の支援

保護者の就労支援

内閣府、文部科学省、厚生労働省が連携

「子どもの貧困」対策 《国》



子供の未来応援国民運動で
支援の輪を広げています



子どもたちのための私達グループ活動

◆ みんなの食堂 ◆

◆シルバーカレッジのメンバーにより2017年に立ち上げ、
現在**二つの活動・支援**をしております。

(1) 地域の子どもたちや、一人暮らしの方々を対象に、
「食事等を無料で、または低価格帯で提供中」

(2) 地域の小学生の**「英語学習支援を昨年から開催中」**

◆「子どもたち」や「全ての大人達」へ**「居場所づくり支援」**



「みんなの食堂 なかみち・こみち」のご紹介

- ・活動場所：兵庫区中道地域福祉センター
- ・登録者数：子ども50人、一人暮らしの高齢者の方15人
- ・開催日（毎月）：第一金曜日30人、第三金曜日15人
第四金曜日は英語学習支援 8人
- ・食育を兼ねて、お母さんと共に2歳の幼児を受け入れ

兵庫区中道地域福祉センター



みんなの食堂



みんなの食堂

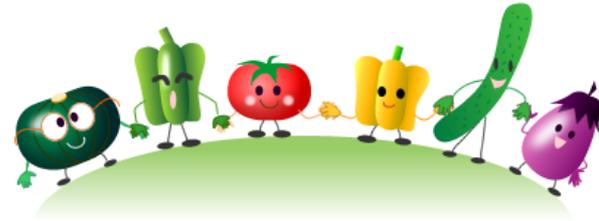
「なかみち・こみち」

厨房での食事作り



みんなの食堂

「なかみち・こみち」



楽しい 食事タイム・・・



節分の催し・・・

鬼が登場



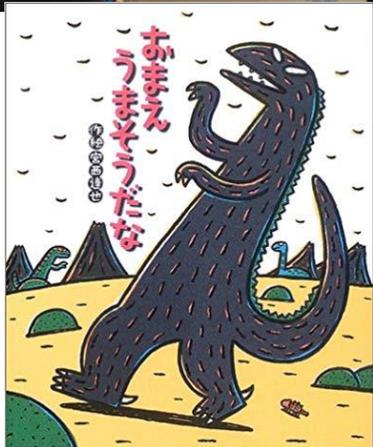
季節ごとのアトラクション
今年の節分

みんなの食堂

「なかみち・こみち」



アトラクション 紙芝居



● 絵本

おまえ うまそうだな

● 紙芝居

まえがみ たろう



みんなの食堂

「なかみち・こみち」

◆コロナウイルスの影響の為、食品を提供しています。

寄贈された食品



子どもたちへの受け渡し



英語学習支援「なかみち・こみち」

小学生の英語教育について

◆2019年迄

- ・5・6年生を対象に「外国語活動(英語)」
として行われてきた。

◆2020年～:

* 3年生、4年生

- ・「外国語活動」(教科書無し)
- ・授業時間:年間35時間

* 5年生、6年生

- ・「教科」(教科書有、成績評価有)
- ・授業時間:年間70時間



英語学習

2年生3人

「なかみち・こみち」



2年生2人



見学のお母さん)

1年生



英語学習

「なかみち・こみち」

5年生



2年生



2年生



最後に

◆みんなの食堂

- ・全ての子どもが幸せで、健全な発育の場と教育の機会が、与えられる事を望む。そういった国の政策が最重要課題。
- ・私たち世代が残した負の遺産を次世代に残してはいけない。
- ・また、子どもの貧困の連鎖を断ち切らなければならない。
- ・地域に暮らす子ども、またその周りの大人たちと共に、時間を共有しながら、私たち自身が子どもにとって信頼できる大人となること。そのために温かい場所づくりをしていきたい。

◆英語学習支援

- ・子どもとの触れあい(マンツーマン学習)
- ・英語はたのしい(英語に興味を持とう)
- ・スタッフメンバー(先生)の確保

以上で発表を終わります

ご清聴ありがとうございました